

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	61	加湿器が不足しているため、適切な温・湿度管理及び感染症予防が不十分である。	加湿器を設置し、適切な温・湿度(50%~60%)管理をすることで、感染症を予防する。 また、季節性インフルエンザ対策として、各居室に空間除菌(クイックシールド ルーム)を設置する。	・加湿器を購入、設置する。 ・ホールに季節性インフルエンザ予防のための空間除菌(クイックシールド ルーム)を購入し、設置する。	1か月
2	61	AEDの設置がなく、緊急時の対応ができない。	AEDの設置をし、当ホームのためだけではなく、必要に応じて、地域の方にも貸出や緊急時の対応ができることを伝えていく。	・AEDを購入、設置する。 ・地域の方に回覧する。 ・民生委員、区長への説明を行い、地域の方へ貸出や緊急時の対応ができることを伝えていく。	6か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。